

『誰にとっても居心地のよい学校』

藤枝市立西益津中学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	1年生を迎える会、色決め集会 結団式 縦割りレクリエーション	・西益津中学校の行事。委員会・部活動の紹介 ・縦割り学級決め	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の職員会議 ・学年部会などの担当組織の確認 ・ピア・サポート活動の1年間の流れの確認
5月	学年行事 1年生：地域探訪 2年生：職場体験 3年生：修学旅行 1年生小小中合同キャリア教育（小中連携）	・藤岡小学校、西益津小学校の6年生とともに、複数の事業所を招いて体験学習を行った	
6月	生徒会主催全校レクリエーション（ブラックジャック大会） 小学校への読み聞かせ①	・全校レクリエーションの企画・実施	
7月			指導部会、学年部会を通して、どのようなピア・サポートが適切か、日常的に情報交換を行う。
8月			
9月	合唱練習 各団で交歓合唱		
10月	音楽発表会 体育大会に向けて団練習 体育大会	<ul style="list-style-type: none"> ・各団長を中心に、3年生が主体となって練習を進める ・文化専門委員会を中心に生徒が主体となって会を運営・進行する 	
11月	小学校への読み聞かせ②		新年度の教育課程を決める際、職員間でWSを行い、生徒たち主体の学校づくりについて議論。
12月	縦割り道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで団ごと築いた関係を活かしながら、考えや意見を交流する。 	
1月			
2月	3年生を送る会 各団で催しを企画	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生が中心となり、各団、専門委員会や部活動が一緒になって企画する。 	※事前に生徒たちもWSを行い、教員にプレゼンを行う。
3月	3年生を送る会（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・新生徒会本部が運営を行う ・年度最後の合唱に向けて学年で団結して練習を行う 	

1 本校のピア・サポート

本校では、「誰にとっても居心地の良い学校」を目指して活動に取り組んでいます。日常生活から相手の良い部分に目を向けられるよう、学活やLHR学活の時間を確保して、クラスの現状について話しあったり、清掃の在り方について各清掃場所で振り返りをしたりして、ピア・サポートの雰囲気を醸成しています。

2 本年度の取組

(1) 授業において

- ・授業においては、向学4原則(「あいさつ・準備・1分前行動・聴く、取り組む」)の達成具合を生徒自身が評価するとともに教科係が今日の授業のMVPを選出することで、仲間の良い部分が全員に伝わるようになっており、自己肯定感を高めることに繋がっています。

(2) 特徴的な活動

・縦割り道徳

体育祭を行った際の縦割り集団の中で、1～3年生を混在させた状態でグループを大きく3つに分け、各団の学級担任がそれぞれ道徳の授業を実践しました。教材は統一して「手品師」という読み物教材を使用し、夏季の校内研修で各団の教員が集まり、授業研究を行い、各団で同じ授業展開を行いました。普段とは違う異学年の生徒と交流するなかで、上級生はリーダーシップを発揮する場面、下級生は同学年では思いつかない考えを聴き、考えが広がる画面などが見られました。

・音楽発表会 <提言1><提言6>

文化専門委員会を中心として企画・運営を行い、各学級で1曲、各学年で1曲に加えて全校合唱1曲を歌いあげました。「合唱づくりはクラスづくり」という言葉のように、クラスの中で1つのものを創り上げるなかで、仲間の大切さやお互いを尊重する接し方、伝え方を学んでいきました。本校の自慢の1つでもある合唱づくりを象徴する行事となりました。

・体育大会(団練習) <提言1>

生徒会・専門委員長が中心となって、体育大会の企画・運営を自分たちで行いました。生徒会は開閉会式や団練習の計画を含めた全体の日程管理と運営を行い、専門委員長は各競技に関するルールを決め、競技の運営を行いました。各団の団長を中心として縦割り練習を行い、当日に向けて縦割り集団の結束を深めました。

・新年度に向けたワークショップ

新年度の教育課程を編成するなかで、「今の西中の自慢できるところと課題」を議題にWS(ワークショップ)を教員間と生徒会を中心とした生徒間でそれぞれ実施しました。生徒たちが求める「理想の西中」と教員が求める「理想の学校」にズレが生じているのではないかという考えから実施され、生徒も教員も同じ目標に向けるように、生徒間、教員間で行ったWSを参考に教育課程を編成中です。

・3年生を送る会

体育祭、縦割り道徳を行った縦割り集団の1、2年生が同じ団の3年生に向けて「感謝」をテーマに出し物を用意しました。各団2年生がリーダーとなり、1年生に協力を仰ぎながら、メッセージカードや寸劇を企画中です。

3 本年度の成果と来年度に向けて

今年行われた教育活動のうち、多くのことが「ピア・サポート」に繋がっており、他者意識を育むものとしては適切であった。しかし、生徒のなかでは「やらされている感」がどうしてもあり、自分たちで考え、他者と交流をもっとしたいという意見がWSで出てきました。次年度は同じ教育活動だとしてもそのなかで「交流」をテーマに生徒ファーストな教育活動を目指すことで「相手意識」を一層育てていきたいと考えています。